



第23回 しんとつかわ 雪まつり



第23回しんとつかわ雪まつり（ふるさとまつり実行委員会主催）が1月26日（日）に改善センター前で行われ、雪が降る中、4,500人の来場者でにぎわいました。

恒例の冬鍋大会では、豚汁鍋やもつ鍋など、工夫を凝らした出店者自慢の鍋料理10種類が販売され、来場者は熱々の鍋料理で体を温めていました。

国際中華鍋押相撲選手権大会では、親子で出場した榎田恵梨子さんと温大くんが、それぞれ一般女子の部と小学生の部で勝ち進み、親子そろって優勝し、温大くんは「すごくうれしい」と笑顔を見せていました。

また、タレントの武井壮さんも登場し、会場を盛り上げました。

十津川村 駅伝大会

新春の奈良県十津川村を
颯爽と駆け抜いた新十津川町選手団「絆」



【新十津川町選手団名簿】

区間	氏名	走行距離 (km)
1	久米 海斗	6.5
2	川眞田 潤	7.0
3	永澤 琴音	2.8
4	田中 優雅	2.9
5	小川向日葵	2.8
6	野崎 佑也	5.1
7	斎藤 弘一	4.4
8	板見 寿子	6.4
補	神田 晃宏	—



1月12日(日)に奈良県十津川村で、第60回十津川村駅伝が開催され、新十津川町から選手団「絆」(斎藤弘一団長)が参加しました。

今大会は60回目の節目の大会であり、第50回に引き続き、本町のチームが招待され、10年ぶりに選手団を結成しました。選手団は、10月から8回の全体練習をスポーツセンターで行い、大会に挑みました。大会当日は、快晴に恵まれ、37.9^{キロ}のコースを8人でたすきを繋ぎ駆け抜けました。村民の温かい声援の後押しを受けて、予想したタイムを上回る2時間56分15秒という記録を収めることができました。

参加チームは村内の部20チーム、オープン(村外)の部23チームの合計43チーム参加し、本町は26位でゴールしました。

大会を振り返り、斎藤団長は、「会う人会う人に、災害時の支援は大変ありがとうございましたと感謝の気持ちを伝えられました。ユニフォームの胸に書かれてある『新十津川町』の文字で、多くの方に応援していただき、大変うれしかったです」と話していました。また、次回開催されるピンネシリ登山マラソンには、このユニフォームで挑戦しますと意気込んでいました。